



おおの 野

ひろし 寛



しんわかい 津和会

津市G I G Aスクール構想の推進体制は

問 G I G Aスクール構想の実現には物的支援も大切だが、人的支援体制の確立がより重要であると思う。

国が求める体制に津市は十分にに対応しているのか。

また、G I G Aスクール構想には「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。」とあるが、津市の実現可能な施策は何か。

独自でG I G Aスクール支援員を配置する

答 学校のICT環境整備の設計やOS選定、機器の準備等については、関係部局と連携の上、不足なく対応している。

また、津市独自でG I G Aスクール支援員を原則2中学校区に1人配置し、教職員を対象とした研修会等への支援を行う予定であり、1人1台端末の効果的な活用に向け、取り組む。

OSは児童に使いやすいものを選定しており、写真や動画などを使用することで苦手意識を軽減することができ、また、個別学習では、教職員もフォロー等に入りやすいと考えている。

ICTを効果的に活用し、誰一人取り残すことのない学びを実現できるよう取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○津市の「災害からライフラインを守る事前伐採事業」について

- 内容とその基本的考え方について
- 実施時期について
- 津市における実施箇所について
- 事業の継続および「みえ森と緑の県民税」の予算推移について



▲いよいよ始まるG I G Aスクール構想



たや しゅう すけ 田 矢 修 介



けんとう 京都クラブ

中長期的な政策戦略への市長の考えを問う

問 市長は、広報津の市長コラムにおいて、徹底的な新型コロナウイルス感染症防止策を進めると表明され、定例記者会見では、中長期的な政策にも取り組むことに言及されたが、その具体策は。

また、「新しい視点を持って進めていく」とする市長の思いを、市役所の組織全体として、どのように職員と共有し、組織を動かしていくのか。

新しい視点で政策を見つめ直すことが必要

答 今回の補正予算では、避難所となっている集会施設等のトイレの洋式化や、保育所等の空調設備の整備など、新しい生活様式への対応に踏み込んでいる。これは、当面の間コロナウイルスありきの社会が続くことを前提に市民生活を守っていかねばならないという、新しい段階に入ったという認識のもとでの一歩踏み出した施策である。

職員に対しては、幹部会議などの場において、新しい視点を持って、政策そのものを見つめ直すことが必要だと伝えている。

全庁一丸となって、この新しい社会の中で市民のお役に立てるように取り組んでいかねばならないと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 避難所としての機能を担う、集会施設のトイレや小中学校屋内運動場および校舎のトイレ洋式化への具体的な取り組みは
- コロナ禍において身寄りのない高齢者や障がい者の不安に津市はどのように寄り添うのか
- 新型コロナウイルス感染症対策下での財政調整基金の運用は
- 自然の驚異から児童生徒の生命を守る危機管理体制は など



▲徹底的な感染症防止策の進捗とともに中長期的政策戦略を